



2021年7月30日

各 位

会 社 名：日本化薬株式会社

代 表 者：代 表 取 締 役 社 長 涌 元

厚 宏

コード番号：4272 東証一部

問 合 せ 先：執行役員

グループ経理本部経理部長 川村 勉

(電話:03-6731-5842)

業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績の動向を踏まえ、2021年5月11日に公表した業績予想を下記のとおり修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

1. 2022年3月期第2四半期（累計）連結業績予想数値の修正（2021年4月1日～2021年9月30日）

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する四半期純利益	1株当たり四半期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想（A）	84,500	5,300	5,500	4,500	26.35
今回発表予想（B）	91,300	9,800	10,400	8,000	46.91
増減額（B－A）	6,800	4,500	4,900	3,500	
増減率（％）	8.0	84.9	89.1	77.8	
（ご参考）前期第2四半期実績（2021年3月期第2四半期）	80,518	6,976	7,341	4,883	28.59

2. 2022年3月期通期連結業績予想数値の修正（2021年4月1日～2022年3月31日）

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想（A）	176,000	12,400	13,000	10,100	59.14
今回発表予想（B）	184,800	17,400	18,400	14,000	82.10
増減額（B－A）	8,800	5,000	5,400	3,900	
増減率（％）	5.0	40.3	41.5	38.6	
（ご参考）前期実績（2021年3月期）	173,381	15,194	16,538	12,574	73.62

3. 修正の理由

売上高は、新型コロナウイルス感染症拡大の影響による世界的な需要低迷からの回復を背景に、半導体関連材料、コンシューマ用インクジェットプリンタ用色素等の需要が想定以上に推移することに加え、産業用インクジェットプリンタ用色素、感熱顕色剤、液晶プロジェクター用部材及び染料系偏光フィルム等の需要が回復することにより、前回予想数値を上回る見込みです。営業利益、経常利益、親会社株主に帰属する四半期(当期)純利益は、売上高の増加に加え、設備稼働率の上昇による原価低減、販管費の抑制等により前回発表予想を上回る見込みです。

※上記予想の内容は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、様々な不確定要素が内在しており今後の市況動向等により変動する可能性があります。

以 上